

第58回自由が丘のまち運営会議議事録

日 時 : 平成25年(2013年) 11月20日(木)
18:30~20:45

場 所 : 自由が丘会館3階

出 席 者 : 別紙の通り

議 題 :

検討事項

1. 自由が丘駅周辺地区街づくり協議会(オーナー会)設立趣旨について

以 上

(株)ジェイ・スピリット渡邊代表取締役から挨拶

本日の議長は木村取締役

◆議題・・・自由が丘駅周辺地区街づくり協議会(オーナー会)設立趣旨について説明(林氏)

<質疑応答>

(委員)先日の全体会議でジェイ・スピリットをご存知ない方がいたので驚きました。ブロックごとでまず、ジェイ・スピリットについて説明し、存在感を示さないといけないと思います。そこで賛成の人だけを集めて早くまとめた方が良いと思います。

→(渡邊代表取締役)先日会議に参加された方々には、状況を御理解頂けたと思います。南口地区計画の検討の関連で参加するようになった若い人がいますが、自由が丘のまちづくり会社であるジェイ・スピリットを知らない人がいます。地区計画についても地域一体としてスタートしたのですが、今まで参加していない人は経過が分からず1mのセットバックにより自分の土地が狭くなる事に反対するという事が出てきています。

→(委員)それをまとめるのは大変な事ですね。大きな動きが出てくれれば妥協するとは思いますが。

(議長)オープンカフェについて、最初の提案として何か考えはありますか。

→(林氏)オープンカフェに関しては駅前広場を整備する時に、女神広場を楽しく使う事を考えよう、という中で話がありました。その時は検討しましたが、いろいろと制約が大きくて立ち消えになってしまいました。

しかし、新宿区や高崎市、札幌市などは取組みの中で出た収益をまちの環境整備に還元していこうという仕組みにしており、自由が丘でもそういう事ができるのかという事が1点あります。それから、駅前広場でオープンカフェをやる場合には、飲食店の法律の縛りが大きくその場での調理は難しく周りのお店から持って行き提供する方法が多かったのですが、最近は柔軟になってきているとも聞いていますので、駅前広場で実施する場合にはどういう可能性があるのか具体的に検討していかなければならないと思います。

(議長)目黒区としていかがですか？

→(地区整備事業課三ヶ尻係長)道路管理の担当者が本来お答えする事ですが、いつどうやってするのかという事を検討する必要があると思います。歩行者天国の日曜日など安全で交通の邪魔にならない時が実施できる可能性があるかもしれません。歩行者も車も多い現状の平日に実施するとなるとなかなか難しいかもしれません。交通管理者である警察の許可には十分協議が必要だと聞いています。

(議長)新宿区は既に認可されたのですか？

→(地区整備事業課三ヶ尻係長)はい。しかし、実際、実施しているのは夕方の歩行者天国の時間です。6年か7年社会実験を行った上で認可されましたが、最後は警察との安全性の協議が重要だったと聞いています。

(渡邊代表取締役)奥沢の緑道付近は可能でしょうか？

→(和田先生)緑道を管理している世田谷区に聞いてみなければ分かりませんが、説得できるのではないのでしょうか。

→(渡邊代表取締役)そうなれば、常設とまでは言わなくても一週間に一回位でもオープンカフェをする事も可能ですね。その時は、またよろしく願います。

(委員)二子玉川の再開発の時もそうでしたが、地権者の理解が得られるかどうかという事が一番大きいと思います。それに対して民まち事業をどう説明していくかという事が大事だと思っています。

(渡邊代表取締役)基本的には、南口地区やサンセットエリアがやっている地区計画の検討は地権者からなる協議会で検討しています。その皆さん方の協力でできたという事です。睦会も同様です。駅前の西地区が地区計画をどう導入できるかという事が最大のポイントになると思います。先日、協議会がスタートしましたので西地区の皆さんで作っていただければと思います。

(委員)以前にオープンカフェを検討した時にアンケートの担当をしていました。1店舗カフェをやりたいという方がいましたが、最終的には警察が厳しくて立ち消えになってしまいました。出来る要素ややりたいという方はいらっしゃると思います。ただ、今の広場の使われ方としてジャグリングを楽しんでいる人もいるので、その方達との兼ね合いを良く考えないといけないと思います。

また、資料の「荷捌き」についての2年目の地権者合意についてですが、何をどういう風に合意するのでしょうか？1年目と2年目のつながりが見えない気がします。そして、11月18日の街づくり協議会は残念ながら出席できなかったのですが、どういう体制になったのか、決まっているのであれば教えて頂きたいです。

→(林氏)11月18日の段階では、会長は岡田理事長に決まり、副会長は会長が任命することになっているので会長に一任という事になりました。その後の事務局での打ち合わせでは、東西南北の地区の人に入ってもらう必要があるので代表者の方かその地区の街づくりの中心になってくれる人に声をかけて了解を得られた方に入って頂こうと考えています。

→(渡邊代表取締役)自由が丘商店街振興組合が地権者の代表として中心になり、この事業が進められています。ジェイ・スピリットは、協力団体という形です。そのため、会長は振興組合の代表である岡田理事長を推薦しました。副会長は理事長に一任していますが、人数が多くていいのではないかという意見があり、例えば西地区であれば地権者の代表の方や広小路会の代表の方、しらかば通りの代表の方達にお声がけし、副会長は3名にしたら良いのではないかと考えています。

→(議長)東急電鉄も地権者として、地区の協議会と並立して対応を考えていると聞いています。

→(渡邊代表取締役)そういう話も聞きましたが、入りにくいという話も聞きました。

(林氏)東急電鉄にも中心に入って頂こうという話は出ています。18日にはそこまでは決まりませんでした。

(委員)11月18日の議事録はでないのですか？

→(林委員)「ニュース」という事で概要は今、作っているようです。

(委員)ホームページに載りますか？

→(渡邊代表取締役)まだ、そこまではいいません。

(委員)自由が丘東急ビル(旧東急プラザ)も駅前なので参加してもらえたらいいと思います。

→(東急電鉄)駅及びその周辺の権利者として、何らかの形で入らせて頂けたらと思います。南口の東急ストアに関しては東急電鉄が権利者です。

(議長)次に荷捌きについての回答をお願いします。

→(林氏)2年目3年目についてどうするかという事ですが、今年度は協定などの仕組みの案を作り、次年度にその合意をする、内容によっては社会実験ができれば実施するという話は出ています。他に研究したいテーマが出てくれば、それをまた追加していく可能性もあるという事しか今の段階では言えません。

(渡邊代表取締役)組織も出来ていませんし、具体的な事はまだ、全然決まっています。荷捌きの組織が出来てオープンカフェの組織が出来れば具体的な話になってきます。

(議長)路上荷捌きについての提案は何かありませんか？

(委員)自転車派としてお話しします。駅前のロータリーに飲料関係の会社2社の車が殆どいつも駐車しています。その2社がA車からB車に飲物を移したりして長時間駐車しています。一誠堂の所から不二屋書店に行こうとするとタクシーと駅への送迎の車と飲料関係の会社の車の間に挟まったまま自転車で走る事になっているというのが現実です。

対策についてですが、一昨日私は「ロンドンはどのようにして自転車シティに生まれかわったのか」という講演を聴いてきました。TBSのプロデューサーの疋田さんという方が自転車のまちづくりという事を一所懸命やっています。世界中、日本中の自転車のまちづくりをしている地域の取組み前と取組み後の写真約100枚を使っての熱演を聴いてきました。金沢には「まち乗りシェアバイク」というのがあり、つないでいるサイクルステーションを走ると金沢中を自転車で走る事ができます。1回お金を支払えばA地点からB地点まで行ってその自転車を乗り捨てると追加料金を取られないでまた次の所へ自転車で行けるという事をやっているそうです。

私は自由が丘で徹底して道の左側を走っていますが、平気で右側を走ってくる子どもを乗せたお母さんにかち合います。この様な状況の解消に取組み始めたのが札幌市です。札幌市では、自転車専用通行帯(ブルーゾーン)を青色に塗って片方だけの矢印をつけました。そうすると、反対方向へは行けないという取組みです。同じような最先端の取組みを始めたのが尼崎市です。尼崎市は取組み始めたばかりなので1200mしかできていないそうですが、この取組みをしている係には自転車の事が良く分かっている人がいるそうです。

荷捌きの話に戻ります。アムステルダムではあれだけ大きなまちですが、荷捌きをどうしているかというと朝と夜の6時~6時半以外は一切車を駅の回りに入れられないそうです。アムステルダムの中央駅には6000台止められる大駐輪場があります。私は今日の話聞いていて、街づくり協議会の中で一番考えて頂きたいのは、「命を守るまち自由が丘」についてです。そこに立脚しないと何をやっても安心して安全なまちを歩くという所に立ち行かないと思います。それは、ひいては自由が丘から人が離れていく事になると思います。どこに主眼をおいてまちづくりを考えていくかという事です。

1つだけ残念な話をします。東京都に自転車の事を相談にいくと6部局14課の所に話を通さないと自転車の改革は出来ないそうです。ロンドンではロンドンオリンピックが決まってから、オリンピック開催までの7、8年の間に自転車の事が良く分かっている人をブレインに入れて、どうしたら自転車が安心して走れるまちになるのかという事を考え、市長の鶴の一声で自転車に優しいまちにしました。自転車に優しいまちというのは、実は歩行者と身体障害の方にも優しいまちです。自転車に優しいまちは、みんなに優しいまちだと思っています。車いすがどこまで行っても走り続けられる市は伊勢市だそうです。伊勢の方や疋田さんなどにお出で頂き皆で具体的な事例を勉強すると大分違ってくると思います。

最後に一つだけ質問ですが、この民間まちづくり事業は、その他の助成も活用しますと書いてありますが、自由が丘は国土交通省からお金を出してもらうだけの事なのですか。国土交通省は今、都や区が口出しできない事がとても多いです。推進している協議会の人達が区に話しにいったり、警察に話しにいったりしないと話が進まないのですか？そこをちょっとお教え頂ければと思います。

→(林氏)調査やルール作りのための調査委託費の半分を国が出してくれる事になっています。これまでの国の仕組みだと、国から区にお金の下りてきて、区からまちへ下りてくる形ですが、今回は直接補助を受け、実施する時にはいろいろと相談に乗ってくれる事になっています。

→(渡邊代表取締役)警察などの公共機関への相談や手続きは、まちの皆さんにして頂きます。今までは区の指導の下にしてきましたが、今回は区の指導がないので直接私たちがやらなくてははいけません。区としては、いかがですか？

→(地区整備事業課三ヶ尻係長)基本的には地権者の皆さんで決めて活動していく制度と考えています。(委員)国の人はずごく全国の事例を知っています。国に「〇〇というまちづくりをしたいのですが、具体的にうまくいった事がありますか？」と聞きにいき活用していったら良いと思います。夜、来て話して頂いても時間外勤務手当でだけで、講演料は必要ないと思います。そういう方に来てお話してもらったらいかがでしょう。先日、緑が丘文化会館の社会教育講座で外務省の方が「最近の東南アジアの情勢について」2時間お話し、翌週も同じ外務省の方が「アフリカの最近の情勢について」お話されていました。講演しに来てくれていますので、そういう人達の国内版として、困っている時に事例を紹介してくれる人をよんだら良いと思います。

→(渡邊代表取締役)国土交通省へは石川先生と岡田先生がよく行っています。自由が丘の計画を出して、かなり相談しているはずだと思います。その中で絞り込んだのが、今回の2つの事業です。専門の人の良い事例を聞いていないのであれば、実際聞くことも良いと思います。また、相談しておきます。

(委員)荷捌きに関して勉強しましたが、料飲組合が協力してくれないと厳しいと思います。宅配便は駐車場に入れているのであまり迷惑していません。荷捌きは午前中に徹底したり時間規制をしたら良いのではないですか。

→(渡邊代表取締役)時間規制は当然やらなければなりません。佐川急便は、駐車場を借りて迷惑かけずにやっています。前の交通実験からやるようになりました。

(委員)関係者の方がいたら申し訳ないのですが、今日、人力車を見ました。人力車が100台来たら、困り

ますね。今のうちに規制した方がいいのではないですか。浅草は人力車が多くてすごいですよ。

→(渡邊代表取締役)観光地の浅草とは違って、そんなに人力車を使う人はいないと思いますが。

(委員)先ほど、自転車専用通行帯についてお話がありましたが、ある程度の幅がないとできないのでしょうか。

→(委員)30cmでも自転車専用通行帯にして、運転手に印象付けている所もありました。私が説明するより、疋田さんに来て頂いてお話を聞いた方が良いと思います。「自転車のまちをつくる」という考えなので少し偏ってはいますが、ご理解して頂いた上でお話を聞かれたら良いと思います。

(委員)大山という商店街に10年前に行った時には、すごいスピードで自転車が走っていましたが、最近行ってみたら、皆自転車を押すようになっていました。事故が結構あったのではないのでしょうか。自由が丘も自転車に乗らないで、押して通るようにするというのも一つの方法ですね。私のお店の前のセットバックした部分は「自転車をおりて下さい」と言っています。幼稚園児、保育園児のお母さんに入園式などでも良いのできちんと説明した方が良いと思います。信号無視もかなりしており、事故の元です。

(委員)今日、武蔵小山に行きましたが、アーケードは全部自転車を押させています。そうすれば、事故がありません。

→(委員)来春、ジェイ・スピリットとして「新入園児ママさん自転車教室」を早速、やるべきだと思います。自転車の事故の77.7%が交差点で起きているというデータがあります。その中の半数以上が右側通行の自転車と車の衝突です。ジェイ・スピリットの事業としてすぐに実施すれば随分、変わると思います。歩道を走っている自転車も危ないです。

(委員)自転車の検討は入っていませんが、地権者の集まりで自転車の問題、駐輪場の問題を取り上げるのは非常に相応しいと思います。地権者の協力がなければ解決しない問題なので、余裕があれば自転車も検討課題に入れた方が良いと思います。

(議長)実は、住民会議でまち全体として駐輪場を前向きに考えていく必要があるだろうと考え、目黒区長と東急電鉄社長、ジェイ・スピリット渡邊社長に要望書を提出しました。

委員の方は、自転車はいつもどこに止めていますか？駐輪場があつたら良いと思いますか？

→(委員)私は、東急ストアなどに置いています。

(議長)荷捌きについてはいかがですか？

→(林氏)いろいろご指摘頂いていますが、大手の宅配業者については駐車場に入れてもらっています。一方、飲料関係の車が問題になっているという話を聞きますので、その辺をもう少し確かめていこうと思います。絶対停めてはいけない場所やある程度は停めても良い場所を指定できないか検討したいです。路上で荷捌きをして良い場所・ダメな場所、良い時間・悪い時間という仕組みをルール化できるかという所が1つです。もう1つは、今ある一般の駐車場を活用して何らかの共同荷捌きをする仕組みができるかという話です。

(委員)一方通行の所に荷捌きの車が止まっている事が多いです。

(委員)駅への子どもなど家族の送迎で待っている方も結構、多いです。

(議長) 荷捌きだけの問題ではないですね。

(渡邊代表取締役) 自転車についてですが、極端な事をいうと、住宅街に「自由が丘には通勤・通学の駐輪場は奥沢地区の数万台以外はありません。駐輪したら徹底的に取り締まります」とチラシをいれ、お買物のお客様はどうぞという計画にしたらかなり減ると思います。

(委員) 東急ストアとピーコックストアが駐輪できるようにしてくれたので随分助かっています。朝、開店する前に置いて夜まで置いている人もいると聞いています。

→(渡邊代表取締役) 駐輪の事は、駐車と平行してやった方がいいですね。

(委員) 通知等についてですが、地権者が自由が丘以外の地域にいても出すのですか？

→(林氏) アンケートとニュースは送付します。

(委員) これから進めていくについて、勉強する機会を設けてほしいと思います。また、いろいろな経験や知識をお持ちの方の支援を受けて進めて行けたら良いと思います。

(議長) それでは、これで本日は終了とします。これから、また活動して経過を報告していきますので宜しくお願いします。

以 上